

「島の台所」小佐木島 be - サテライト 計画

小佐木島



三原市中心部から南へ約 2.7km にある小さな離島。全島域が三原市鷺浦町に属する。

○ 人口

1 昨年まで人口 8 名→昨年新住民 2 名を加えて 7 名

※三原市は人口 94,465 人、鈴木は小学校 3 年 4 年 5 年と三原小学校に在籍。

子供時代の瀬戸内の記憶は多く三原小学校時代。

○ 構成

現時点で旧住民 5 名（男性 1 名、女性 4 名）+新住民 日本画家（女性 1 名）、
地域おこし協力隊（男性 1 名） の合計 7 名

○ 交通

- ・日に三原港から往路 4 便、復路 3 便の高速船による定期航路、
所要時間 13 分で結ばれている。
- ・三原駅には在来線、山陽線と新幹線停車駅（こだまのみ）、三原港は、三原駅より徒歩 5 分。
- ・広島空港は三原市、三原港までバスで 30 分程度、
札幌より ANA（ADO）1 便、JAL 1 便、120 分程度、
東京（羽田）より ANA 9 便、JAL 8 便、80 分程度、国際空港でもある。
- ・新幹線の駅から最も近い島。
- ・札幌から最短時間で行くことのできる島。
- ・定期航路以外は、土生商船の水上タクシーがある（¥5,000）

○ 特色

夏の海水浴、島はみかんと除虫菊の真っ白い島として記憶されている。

小佐木島の魅力

○山の幸

- ・柑橘類：レモン、ゆず、ネーブル、はるみ、きんかん、晩白柚、等各種の柑橘類
- ・各家庭用、菜園で採れる野菜類
 - ほうれん草、小松菜、大根、玉ねぎ、にんにく、トマト、豆などの野菜類
 - メロン、すいか、キウイ、桃などの果物類
 - にんにく、生姜、山椒、大葉などの香味野菜
 - 通年で季節ごとに食卓に登る
- ・たけのこ、わらびなどの山の恵み



○海の幸

- ・魚類 鯛、アコウ、たこ、いか、太刀魚、ままかり、メバル、アナゴ 等
- ・大潮の日のイカ、タコ、サヨリ等の収穫
- ・定期的に釣り人が訪れる釣りのポイント
- ・海藻類 わかめ、ひじき 等
- ・貝類 岩牡蠣、ニシ、サザエ 等



○海流

- ・小佐木島と佐木島の間は「柄鎌瀬戸」とよばれ、干潮満潮で最大4メートルもの潮位の差があり時に渦をまく。
- ・干満で反転する海水の流れは急流の川のように変化に富む。
- ・海流の下には、鯛、タコ等の魚が生息し、味が良いと言われる。



○その他

- ・自然の植生にはハゼの木など、活用の考えられる樹種もある。

小佐木島の現状

- ・旧住民の平均年齢は80代後半、現時点でも健康に不安を抱えている。
- ・およそ40棟の住宅が残っているが全く利用されていない住宅も数多く存在する。
- ・うち数軒は、三原市在住の元島民親族が週末利用などで、みかん畑などの農地を耕作している。
- ・盆や島のまつり期間には多くの島民家族、元島民が訪れ、所有家屋に宿泊滞在する。
- ・島内のみかん畑は管理不足等で、徐々に減少し始めている。
- ・フェリーが就航しなくなってから、柑橘類は出荷されることなく、自家消費や贈答用のみになっている。
- ・手入れのされていないみかん畑には枯れ木も増えている。
- ・
- ・



小佐木島の課題

- ・高齢化による、畑、環境の質の低下、みかん畑の手入れの不足
- ・一人暮らしの老人の生活、健康
- ・空き家のみならず現状の家屋もフェリーがないため、修繕改修ができない状態
- ・ごみ問題
- ・
- ・

小佐木島の可能性（三原駅、広島空港からの利便性を生かして）

- ・島の魅力、自然、四季の変化、海の幸、山の幸を生かす
- ・フェリー等の復活による空き家の改修 - 空き家利用（宿泊滞在利用等）
- ・瀬戸内の魅力 - 釣り、島巡り、立寄り
- ・ビーチの整備による海水浴等の利用
- ・新しい仕組みによる柑橘類、農産物、水産物の島外への輸送配布
- ・無農薬・低農薬柑橘の皮・実の加工
- ・みつばちプロジェクト
- ・
- ・



『島の台所』

- ・1Fにキッチンダイニングを持ち、島の住民のたまり場としての「みんなの家」。
- ・2Fにはゲストルーム（和室）と書斎。島に滞在し援農基点等の活動をする施設づくりの基点に。
- ・楽器：ピアノ、コントラバス、トランペット、クラリネット、リコーダー、マイクスピーカー
時にライブのできる場。

○島の住民にとって

シェアキッチン

- ・定期的集まってごはん
- ・井戸端会議の場所
- ・



○島へのゲストに

島の食べ物 季節の幸を食べさせたい

- ・わかめ
 - ・イカ
 - ・ままかり
 - ・オコゼ
 - ・タコ
 - ・太刀魚
 - ・鯛
 - ・みかん
 - ・メバル
 - ・島の野菜
 - ・タケノコ
- 旬の美味しいものを振舞う場所。

干物づくり

釣って
開いて
干して
食う。(嵐山光三郎)

が体現できる場。

キッチンをつかって瀬戸内の魚を干物に、
真空パックし冷凍したものをクール便で配送。



○ 空き家利用のサポートができないか

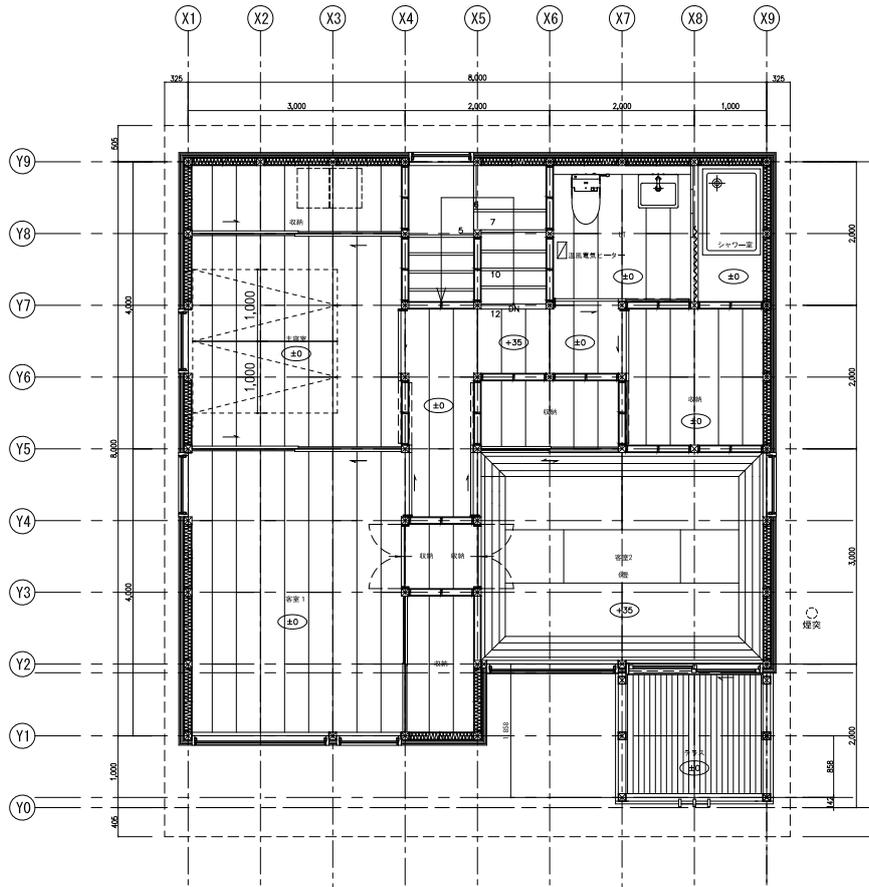
○ 援農、柑橘畑の活用方法の仕組みができないか

○ 人と物の交流を少しずつ広げて行くため、定期船・フェリーを増便できないか

○

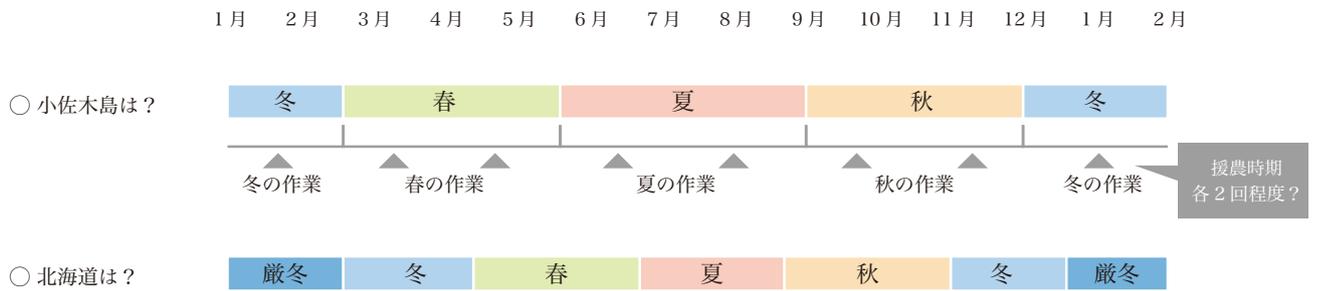
○

【 2F 平面 】



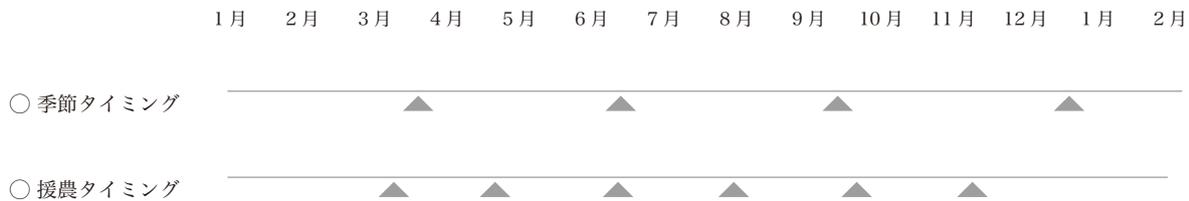
・島の台所 年間スケジュール（イメージ）

[季節の考え方]



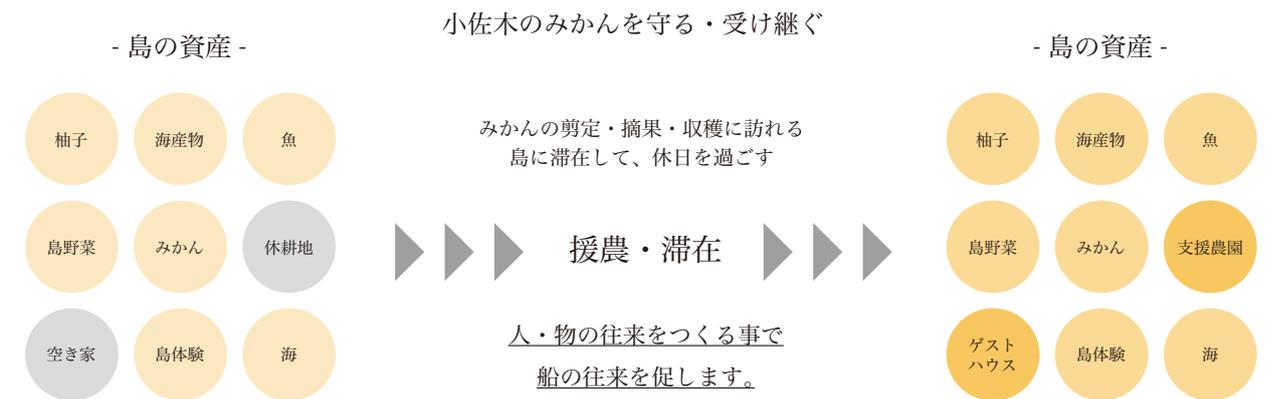
[島滞在の考え方]

小佐木島の援農時期と北海道との季節時差など、タイミングに応じて滞在。



・目標

「人と物の往来に繋がる仕組みづくり」



みかんなどの柑橘類、
魚や魚介類などの海の幸、島で採れる野菜…
それ以外にも、
空き家や休耕地は見方を変えれば島の資産。
援農・滞在の仕組みを取り入れて、
新しい循環をつくる。



みかんなどの柑橘類や海産物、
島の体験も含めた資産を、
各地から来た滞在者がセールスマンとして、
販路を構築する。
滞在者が増え、物資の出荷が増え、
フェリーや定期船の需要が増える。

小佐木島カレンダー

8月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

● …満月
○ …新月